

「フロン類ボンベ引取後の運搬中に発生した漏れ」に関するお詫び

自動車リサイクル法に関するご理解、ご協力を頂きましてありがとうございます。

先般、自動車再資源化協力機構がフロン類の引取・破壊業務を委託しております、イネオスケミカル(株)において、フロン類ボンベ引取後の運搬中にボンベのバルブが緩み、フロン類が漏れるという事故が発生致しました。本件に関して、7月18日経済産業省・環境省より、自動車製造業者・輸入業者の委託管理責任に対し、指導を受けました。また、自動車再資源化協力機構を通じて業務を委託しておりますイネオスケミカル(株)に対しては、ボンベ運搬時の漏洩防止の不十分による勧告を受けました。

自動車リサイクル法において、フロン類の引取・破壊を義務付けられている自動車製造業者・輸入業者から、全面的にフロン類の引取・破壊業務委託を受けている自動車再資源化協力機構としては、今回の事案が発生したことを重く受け止め、フロン類回収事業者の皆様及び関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

自動車製造業者・輸入業者及び自動車再資源化協力機構は、今般の事例を契機とし、フロン類回収・引取・破壊の全工程において、こうした事故が起こらないような徹底した再発防止策に取り組めます。具体的には、運搬工程でのボンベ取扱い作業要領の見直し、ボンベへの漏れ防止キャップの取り付け、及びボンベ輸送パレットの施錠化等を既に実施しているところです。このように、今後も引き続きハード、ソフト面からの再発防止策を講じ、二度とこのようなことが起こらないように取り組んで参ります。

自動車製造業者・輸入業者及び自動車再資源化協力機構は、今後も確実・安全で効率的なフロン類の運搬に取り組んで参りますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上

平成19年7月19日

有限責任中間法人 自動車再資源化協力機構

いすゞ自動車(株)

スズキ(株)

ダイハツ工業(株)

トヨタ自動車(株)

日産ディーゼル工業(株)

日野自動車(株)

富士重工業(株)

本田技研工業(株)

日産自動車(株)

マツダ(株)

三菱自動車工業(株)

三菱ふそうトラック・バス(株)

アウディジャパン(株)

ダイムラー・クライスラー日本(株)

ピー・エー・ジー・インポート(株)

ビー・エム・ダブリュー(株)

フォード・ジャパン・リミテッド

フォルクスワーゲングループジャパン(株)

プジョー・ジャポン(株)